

2024年度 フェリス女学院大学 総合型選抜 期
文学部 コミュニケーション学科 筆記試験（出題意図）

コミュニケーション学科の筆記試験においては、事前に、受験生に、大まかなテーマと、インターネットで公開されているコミュニケーションにかかわるMV、論文等のURL、書籍を提示し、これを踏まえ試験当日に小論文を作成してもらう形式を採用している。

ここで問う基礎力は、次の4点である。

- (1) 「課題として提示されているMV、論文、書籍の内容・メッセージを的確にとらえる力」
- (2) 「物事のしくみや関わる要因と要因間の因果関係を的確にとらえる力」
- (3) 「対象とする問題の解決案を創出する力」
- (4) 「～ について論理的文章で表現する力」

以上の4点が備わっている受験生は、本学科に入学した後も、深い探究をすることが期待できる。

【参考】出題範囲・テーマ及び参考文献について（以下、事前公表内容）

2024年度文学部コミュニケーション学科の総合型選抜 期「筆記試験」の出題範囲・テーマ及び参考文献等について

公開日：2023年6月23日

文学部コミュニケーション学科の総合型選抜 期の「筆記試験」においては、あらかじめテーマ・参考文献等を紹介し、そこで示された課題に対して、考えたことなどを手掛かりに解答します。

2024年度のテーマは下記のとおりです。あわせて、テーマに関連した参考文献（コミックス）およびミュージックビデオ（MV）を紹介します。

皆さんには「推し」がありますか？ 俳優、タレント、アイドルや歌手、スポーツ選手、作家、マンガ家、アーティスト、YouTuber……。鼻屑（ひいぎ）のお店といった「推し」もあるかもしれません。人は誰にも、憧れの対象、目指す目標、生き方やファッションの指針、オピニオンリーダー、好きなモノや食べ物などがあって、それが私たちの「楽しみ」や「生き甲斐」にもなっています。中でも「アイドル」は、まだマイナーな存在であれテレビ番組に出演するようなメジャーな存在であれ、それほど「雲上人」ではないという「等身大」なところが「私もなれるかもしれない」という「夢」を抱かせてくれます。しかし、一見華やかに見えるその世界はまた、虚飾に彩られた世界でもあるようです。

マンガ（コミック単行本）

『推しの子』と、アニメ化されたオープニング曲「アイドル」は、「推し」の心理、アイドルの活動が描かれた作品です。同時に、アイドルのウラ事情、メディアの思惑、ネットの誹謗中傷、ストーカーといったシビアな問題も描かれています（書籍資料の最後はややショッキングな内容です）。主人公は、マンガの中でも歌詞の中でもアイドルは偶像でありその輝きは嘘に嘘を重ねたもので、この嘘こそがファンに対する愛だと言います。それはどういう意味でしょう？

アイドルは、マスコミ、流行、ファン心理、オタク、SNS、音楽やダンス、ジェンダー、マーケティング戦略、そのトークなど、コミュニケーション学科らしい

研究対象に満ちています。

芸能界におけるアイドルを、「メディア」「現実」「嘘」の3つをキーワードに、以下の2つの資料を読んで、見て、聴いて、考えておいてください。

テーマ

「この芸能界（せかい）において嘘は武器だ」を、アイドル・メディア・現実・嘘の視点で読み解く！

参考資料

- (1) マンガ（コミック単行本）資料
赤坂アカ・横槍メンゴ『推しの子』集英社（ヤングジャンプコミックス）第1巻
- (2) ミュージックビデオ（MV）資料
YOASOBI「アイドル」Official Music Video
<https://www.youtube.com/watch?v=ZRtdQ81jPUQ>

以上